

① 施工の前に

◆施工に関する注意事項

施工前にフローリング方向、貼り始めの位置、配線方法、コントロール位置等を必ず確認してください。



出荷明細書と商品の確認をしてください

商品到着後（納品日）、1週間以内に出荷明細書と商品をご確認ください。
※期限が過ぎている場合、対応をしかねることがあります。



昇温試験は接着剤乾燥後に行ってください
（目安：夏期は2～3日、冬期は5日以上）

※釘打ちや誤配線の確認のため、現場成抵抗値、絶縁抵抗値の測定は施工後すぐに行ってください。

接着剤が固まる前に電気を通して熱を加えたり、接着剤を塗りすぎたりすると、しっかり接着せず、床鳴り他問題が発生する可能性があります。



当社営業担当者が施工説明に伺います

初めて当社製品を施工される施工店様・電気工事店様に向けて
施工方法を説明いたします。
なお、日程調整についてはお早目にご連絡ください。

手順①

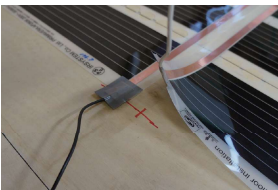
プリマヴェーラ・ネオ 敷設位置の確認



プリマヴェーラ・ネオを仮置きし、敷設部分の墨を出します。

手順②

ターミナル位置の確認



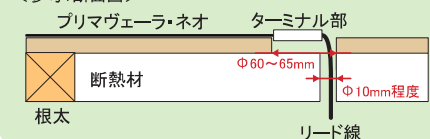
プリマヴェーラ・ネオのターミナル位置の下地合板に、印をつけます。
配線方法は3通りありますので、現場の環境に合わせて
選択してください。

② 配線のための下地加工（3通りの方法があります）

◆方法①＜ホールソーを使った床下配線＞



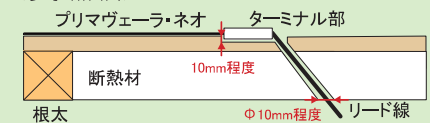
＜参考：断面図＞



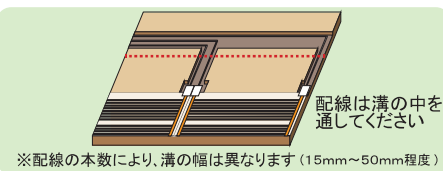
◆方法②＜座彫り床下配線＞



＜参考：断面図＞



◆方法③＜溝掘配線＞



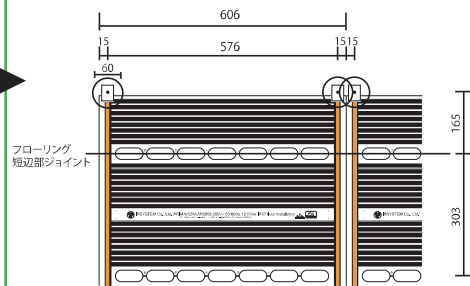
※配線の本数により、溝の幅は異なります（15mm～50mm程度）

下地加工後は 清掃をお願いします

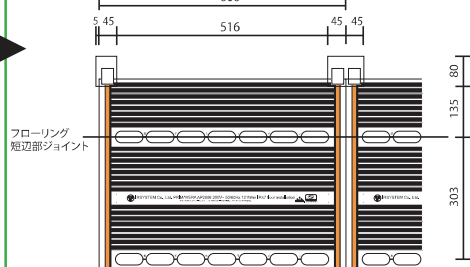


施工する部分にゴミが入ってしまった場合、
床鳴り、破損による漏電の恐れがあります。

◆丸穴位置

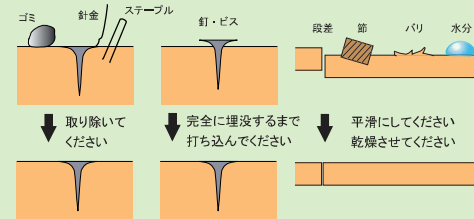


◆座彫り位置



！ プリマヴェーラ・ネオ敷設前の注意

プリマヴェーラ・ネオを敷設する前に、ゴミ・木くず・連結釘の針金・
ステーブル等の無いよう、丁寧に掃除してください。
釘・ビス等の頭は埋没するまで打ち込んでください。
合板のバリや節などの突起物、段差等の無いよう平滑にしてください。
下地合板が濡れている場合は、よく乾燥させてください。



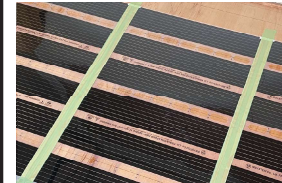
配線

※床上配線は方法が
異なります。

プリマヴェーラ・ネオのリード線を床下に落とします。

③ プリマヴェーラ・ネオの敷設と仕上げ材の施工

手順① プリマヴェーラ・ネオの敷設



仕上げ材の釘打ち部とプリマヴェーラ・ネオの釘打ちラインが
合うように、重ねず隣同士は突き付けて敷設してください。
なお、固定には養生テープを用い、釘打ちライン上の銅箔部を
隠すように貼り付けてください。

手順② 仕上げ材の施工



仕上げ材の施工要領に沿って施工してください。
プリマヴェーラ・ネオ敷設部分への接着剤塗布は釘打ちラインの穴に
沿って行いますが、接着剤は銅箔部分に付着しないようにしてください。
接着剤は、コニシ社製 KU928C-X 同等品をご使用ください。

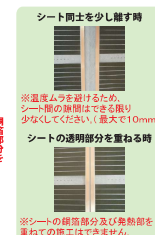
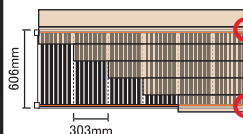
施工完了



仕上げ材の施工が完了すると、電気配線作業に移ります。
電気配線は必ず電気工事士の有資格者が行うようにしてください。

◆仕上げ材が幅の狭いフローリングの場合

幅1尺のフローリングと同様に、
銅箔部分を必ずまかくように施工してください。



どのようにしても銅箔部分とフローリングの継ぎ手が重なったり接近する場合
①プリマヴェーラ・ネオの透明部分を重ねる
②プリマヴェーラ・ネオ同士を離す（最大で10mm 以内）

※割り付けを合わせるために、余っている棒を物差し代わりにする方法や、
予めプリマヴェーラ・ネオを固定するのではなく、フローリングを施工しながら、
1枚1枚ずらして固定する方法があります。

※輸入材、無垢材での施工をご希望される際には、当社営業担当者にご相談ください。